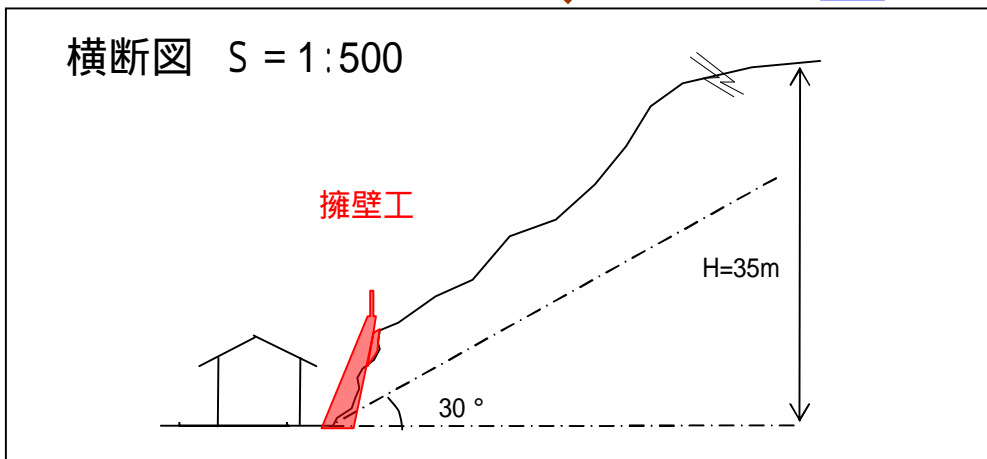
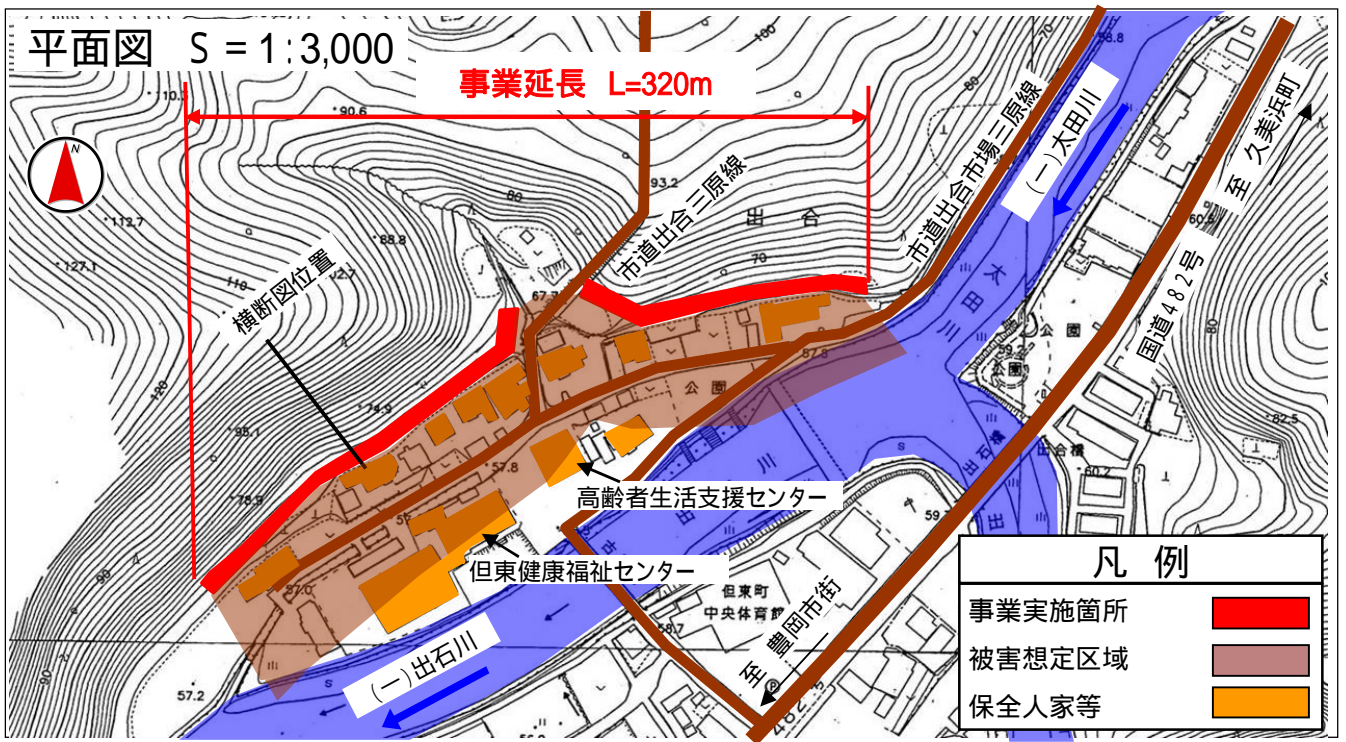
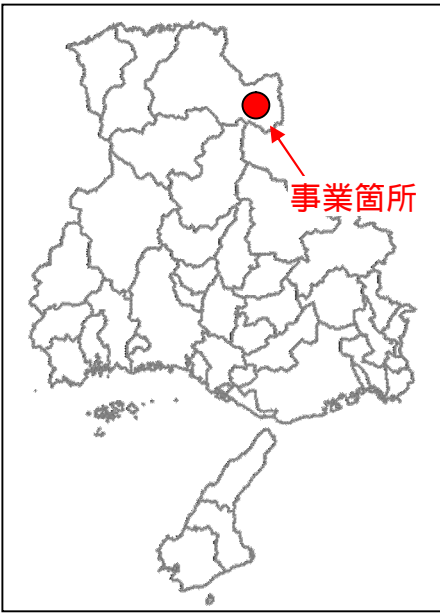


## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 ( 鶴崎 尚夫 )	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		急傾斜地崩壊対策 <small>てあい</small> 出合(1)地区	豊岡市但東町 <small>てあい</small> 出合	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市但東町出合				H22	H24
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家や避難所である健康福祉センター等があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 320m 〔負担割合 国 : 47.5% 県 : 47.5% 地元 : 5.0%〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>但東総合支所から北西約200mに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。</li> <li>斜面は、複数の表層崩壊跡がある危険な状態。</li> </ul>			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>延長320m、幅50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。</li> <li>人家9戸、<u>但東健康福祉センター・高齢者生活支援センター(避難所、災害時要援護者施設)</u>、(一)出石川、市道(約400m)</li> </ul>			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。</li> <li>平成19年度には土砂災害警戒区域に指定しており、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。</li> </ul>			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の同意を得ているため借地契約に問題はない。</li> <li>工事予定箇所付近には市道があるため、工事用進入路に問題が無いことから円滑な事業執行が可能。</li> </ul>			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>擁壁工の計画規模を必要最小限に抑えることにより、斜面の改変を少なくし、既存斜面の緑を残す。</li> </ul>			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>保全対象には、避難所に指定されている災害時要援護者施設である但東健康福祉センター及び高齢者生活支援センターがあり、早期着手に対する地元要望も強い。</li> </ul> <p>以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>			



箇所名 出合(1)地区